

副官



參事官

九廿九
發付

廿六年九月廿二日起案

大臣

次官



軍務局長



局員



艦政本部長



第三部長
第四部長
第二部長



會計課長



經理局長

主任局員



電報

ワリヤイ分のり引揚々々々兵器以外、結駁

再
頁

0942

9-23 件

和品、関シテハ本年官庁第四八号編ヲ以テ及
訓九墨タル所ニ有之処此際悉皆横須賀
鎮守府司令長官へ引渡ス可シ

便寫

明治三十八年九月廿四日

大臣

水鎮長官名

官第 三六四一 號

条

別紙、通水鎮守府司令長官へ及應訓是
美多現品受領、上掲條、見込ナルモノハ常ニ有知シ
保存ノ上迄ヲ譜ナル等相當處理シ適宜其府ニ於テ之
ヲ保存ス可シ且品名数量等ハ報告シ置クハシ

明治三十八年九月廿四日

大臣

横鎮長官名

0943

軍務局

局長

九月

主任局員

次官

佐鎮 参謀長

電報 九月廿六

經理局

のりやーく引揚がき各番意外
 諸戦利品は官各回三号刻令
 依り處理しん七同船の横須除鎮
 守府所管トナリたる付て其際
 悉皆同鎮守府(送致せし)差
 下キヤ

0944

列事並第二六八號

供覽

軍務局

艦政本部

軍令部

軍第三三三

廣東艦隊宗谷回航準備事竣上、六月有之、
 須賀、向回航之旨、豫々其助、
 委成、我、宗谷、艦、來、
 結果、
 得、
 上、
 小、
 二、
 左、
 本、

10-19 0946

七九

昭和二十一年

孫國仁川

新井河軍中將

省務河軍中將

0947

101

軍務局

艦政本部

軍令部

海軍部第二六七號

海軍艦隊司令部航機部事務之旨に遵て接収取組之件

警備隊轉送結果報告書等之良好之有之

三月下旬下旬港外航機轉送之旨に遵て三月

日頃接収課に續行したる旨を報告書に港内航

機部事務之旨に遵て三月下旬下旬港外航機轉送

第三部 第四部

明治三十二年十月十二日付函件

海軍艦隊司令部航機部事務之旨に遵て接収取組

青島海軍次官殿

2-40
2-30

0948

仁川、釜山、内地、回航準備中ノ軍艦宗

電報

經理局長

主任局員

人事局長

局長

艦政本部長

第三部長
第四部長
會計課長

軍務局長

局員

次官

大臣

副官

參事官

十月廿七日

廿八年十月十七日起索

軍令部長

作戰班

海軍

0949 10-17

官房第四〇三六號

案

管下便回法世任う任テ横須賀鎮守府
ヲ移去及、引渡サシムヘシ

三十八年十一月十八日

大臣

法鎮長官宛

別紙、通法世保鎮守府ノ在去及、引渡
ノ事、詳者ノ得ヘシ

三十八年十一月十八日

大臣

横須賀鎮長官宛

0950

10/10

軍務局

艦政本部

霞枝輝

十月二十七日

仁山兼

大五

新井



寫真



堅

宗各回版負全部棄船序明平
八月三十一日港公二於子準備
運転施川ノ陸定

第四部



第三部



小川製

十廿八

仁山兼

10-31

0951

電 報 送 達 紙

0954

局 著		局 發				名 氏 所 居 人 信 受				
受 信 時 分	時 分	時 分	日 月	第 號	報 局					
指 定										
3 1 4 7 2					番 號		注 意		名 氏 所 居 人 信 受	
					第 號		他人へ宛たる電報の配達を受けたる者は其由を付箋に直ちに之を配達したる電報局所に返戻すべし決して其受取本人へ直送し又は手渡しすべからず			
					印 附 日 局 著					
事 記										

製局刷印月七年七十三治明

101
10

0955

電報 送達 紙 人事局

局		着		局		發		名氏所居人信受	
取扱者	受信	信午後	受午前	付午後	受午前	部	第一	局	報
		時	時	時	時	時	日	報	局

本報宗谷の回線が
 欠長に訂正されました
 土井中務

定指	名氏所居人信受
事記	十一ノ四

注意
 他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此山ヲ籍
 定シ直ニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ
 決り受取人へ直接に及ハ手渡シスベカラズ

5-40	3-30

Handwritten mark or signature

0958

10/1/20

人事編

軍務

電報送達紙

局 着		局 發		名氏所居人信受	
取振者	受信	付受	第	報	友 友
午後	午後	午前	二	局	
分	分	分	九	報	
			日		

日進丸着
十一月九日
佐鎮長友

指 定
632
田

事 記
サロ

注 意	名氏所居人信受
他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 號シ直チ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ	



0959

電報局 送達紙

局 着		局		發		名氏所居人信受
取扱者	受信	付	受	第	報	久
午後	午前	午後	午前	三	局	
分	分	分	分	の	報	
字	字	日	號	報		
<p>山東茂着 十月廿一日 佐藤長友</p>						<p>指 定 △ヨニ</p>
<p>事 記</p>						<p>注 意</p> <p>他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 號シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ シテ其取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ</p>

0960

筆
管

管

第

第

第

第

0962

101
10

人事局紙

政本達

軍務局

送局報電

局	着	局	發	名氏所居人信受	
取扱者	受信	付受	第	報局	報局
3	午後二時	午前	二局員	日	報局
	分	分	號	報局	報局

宗后、依此係為 有 信教司長長		指 630 事記 土九	注意 他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 他シ直チ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 之ヲ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ
-----------------------	--	----------------------	--

0964

10/10

艦政本部

軍務局

第四部

五九八号

本艦横須賀マヱ間航シ學ベキ程度ニ至急工事
施行ノ為ノ入渠中防水工事 茲エマヱ約十日間ヲ要

記

十月十三日

伏世保 (連署) 廣角 行

三三三

宗谷

大本營海軍部

0965

101
10

電報 郵政 達 紙 軍令部

局		着		局		名氏所居人信受	
取扱者	受信	受信 午後	受信 午後	付箋 午後	第 三	第 五	電 報
		分	分	分	日	號	局
		字		字		報	
		宗谷、葛城		山		指	
作録長及		山		山		注	
						名氏所居人信受	
						他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此山ヲ符 決シテ其受取人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ	
						事記	

0967

軍艦宗谷豫定航路表

(天田)

地名 哩数 着 発 訖 事

佐世保

一七。

廿三日 正午

自差修正、要スル時間ノ二時間、見積
 実際ハ午前十時出港、豫定

左多岬

三一。

廿四日 午前七時

紀伊大島

一七。

廿六日 午前七時

神子元

六。

廿六日 午前七時

横須賀

合計 七一。哩

右、如航路ヲ豫定スルニ、天候、横瀬、依リ佐多岬ヨリ足摺及室戸ニ接近シ大島、至リ大玉寄御
 前岬近、折針、神子元、至リ、且、場合、ヨリ、沿岸適者、港灣、避泊、スル事、ナシ

速力、平均十哩、豫定トス
 自差修正、約二時間、要スル事、見込、初日、黒島附近、至リ、之ヨリ、行テ、豫定

01
10

艦政本部

電報送達紙

軍務局報

局		局		發		名氏所出人信受	
取扱者	受信部	受信部	受信部	第 二 一 號	廿 五 日	報 局	受 信 人 氏 名
受信部	受信部	受信部	受信部	第 二 一 號	廿 五 日	報 局	受 信 人 氏 名
本日の休む電報は送るべき否を 長官、司令官、若しくは日弁官 等、指定航路標識送る 宗谷艦長				定 指 事 記		意 注 他人(宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此山ヲ符 號直テ 配達シタル電信局所へ返戻スベシ 人(直送シ又ハ手渡シスベカラズ	

0970

郵政省

電報送達紙

軍務局 艦政本部

受信人住所氏名

發

着

局

多

廿七

第 3 號

十月五日

午前

第三

午後

受信

取

指定

注意 受信人住所氏名

他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符
箋シ直クニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ
決シテ其受取本人ト直接ニ又ハ手渡シスベカラズ

オオ

事記

イウ、ヨコスカニム
岸在種之塔向午行ク
土り午
佐世保 大里

0971

艦政本部

郵政省

各

部

大日本

電報

和歌浦

宗若船丸

北東本丸 後々 天候 險惡 出港

和歌浦 及泊 不風 半次 若出港

豫定 船体 異状 十二

三月 廿五日 午後 七時 局 爲

軍令 印 通

0972

電 報 送 達 紙

局	着	局	發				名氏所居人信受
取扱者	受信 午後 七時 分	付午後 一分	第	局	報	指	
	久	一分	五	九	友	報	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p style="font-size: small;">事 記</p> <p style="font-size: small;">定 指</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">注 意</p> <p style="font-size: x-small;">他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 箋シ直チニ此ヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 決テ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ</p> </div> </div>							

0973

101

軍令 軍務 電報送達局

局		着		局		發		名氏所居人信受	
取扱者	受信	信午後	受午前	付午後	受午前	ワカ	友	[Handwritten Name]	
		分	分	分	分	局	報		
[Handwritten: 各付 二部 守]						[Handwritten: 二一 號]			
[Handwritten: 土 局 員 一 日]						[Handwritten: 指 定]			
[Handwritten: 注意]						[Handwritten: 事 記]		[Handwritten: 注意]	
[Handwritten: 宗谷艦長]						[Handwritten: 他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符]		[Handwritten: 注意]	

十一月二日

0974

軍令部








紙

艦政本達

軍務造

報

電

局		局			發		名氏所居人信受	
取扱者	受信 午前 午後	付受 午前 午後	第 二 二	局	報	 		
	分	分	日	號				
   					定指		名氏所居人信受	
<p>秋ラニキ低気、艦遠州沖ニ在リ 海上危險、若中興先、急台ヨリ電 報、其見合、</p> <p>音、知、宗、谷、航、長</p>					事記		<p>他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 箋直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 決メテ其受取本人ノ直送シ又ハ手渡シスベカラズ</p> 	

軍令部

レ艦K
カツイ
製艦ノ

部

マク

イダカ

シロマ

製艦部

シロマ

0975

軍令部

紙

達

送

報

局

電

受信人住所氏名

局

新

局

發

取扱者

受信

午後

付午後

第

局

報

後

時

分

一

二

號

字

日

號

局

報

報

指

指

事

記

注

注

受信人住所氏名

決

他人宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符
號シ直チニ此レ
シタル電信局所へ返戻スベシ
シ又ハ手渡シスベカラズ

取

消

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

取

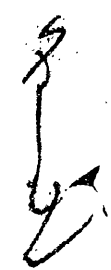
</

電報送部達紙 軍務部 軍令部

局	着	局	發	名氏所居人信受	
取扱者	受信 信箋 後前 部 分	付午後 後 土時 分	第 土日 日	報 局 號	本 報
<p>本日午後四時出濱三十の 午前十時極強暴の 和歌浦 常務局長</p>			<p>カキ コ ヒ ス</p>	<p>指 定</p>	<p>名氏所居人信受</p>
<p>注意</p>			<p>他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 決シテ受取人へ直送スルハ平渡シスベカラズ</p>		<p>事記</p>

0977

電報 報 送 軍務局 達 軍令部 紙 人事局 郵政本部

局	着	局	發	名氏所居人信受	
取扱者	受信	件受			
	午前	午前			
	午後	午後			
	分	分			
	字	日	號	局	報

横須賀着
 里快ナシ
 十二月三十日
 宗谷艦長

定指	名氏所居人信發
事記	他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタラズモノハ此由ヲ符 號シテ此ニ此ヲ配シタル電信局所へ返戻スベシ 決テ其受取ル直送シ又ハ手渡シスベカラズ

0978

宗第一五五三

軍務局

艦政本部

御買

御届

本日軍艦宗谷ヲ横須賀鎮守府司令長官ニ引渡シ手續ヲ了シ美奈此段御届仕美也

明治三十八年十二月六日

各部

軍艦宗會艦長海軍大臣大角海軍大臣


海軍大臣男爵山本權兵衛殿

海軍

袁

12-7 0979

軍令部 紙 經理局 達 報 人事局 電 軍務局

局 着		局 發			名氏所居人信受	
取換者	受信	付午	第	局	報	<p>受信時刻</p>  <p>電報局</p>
	午後	午後	部			
	時	時	日			
	分	分				
		定 指			名氏所居人信受	
		事 記			<p>他人へ宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符 號シテ七ヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ 取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカラズ</p>	
<p>本日宗谷ヲ控領聖枝 等々</p>		<p>宗谷</p>			<p>宗谷</p>	

0930

副官



參事官

發付

十月廿日

明治九年七月廿九日起案

大臣

次官



軍務局長



為實



空里

經理局長



主任局



陸

海

後發中三四〇四編ヲ以テ江川端在任金料

累

官房第四七一號ノ二

母五

0981

後一より同艦ニ於テ沈没老軍艦ソリヤリク
ノ附屬品ニシテ尚防備シテ見遺棄品引揚
願御送付有知也同艦引揚後
中領事館ニ送付有知也同艦引揚後
身之ヲ算有知也同艦引揚後
有也

三十九年五月三日

河 宣

海防府總務長官宛

0982

軍務局

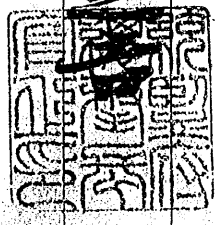


統監府二四〇四号

白露戦後ニ際シ仁川港ニ於テ沈没シ
タ人軍艦ワリヤグ掃リ揚後其附
属品ニシテ港内ニ残留シ在リ遺棄
品ヲ揚テ分方ニ付同港在任金根係一
等ノ系程査出候条此旨公達
附送

明治三十九年十一月四日

統監府總務長官鶴原之



官房第四号

九
三
五

七
天

0983

海軍次官加藤友三郎殿

海軍省

0984

ワリヤークノ號遺棄品引揚願

從來港ノ内外ニ幾多ノ品物沈没シアリテ入港ノ船
船ノ碇泊其他ニ際シ種々ノ障害多シ不時ノ損害ヲ
受ケルモノ甚カク當事者ノ尖害一方ナラカレ有様候
且ツ沈没品中海底ニ其位放棄スルハ空ニテ有様候
スルモノ甚ダ遺憾ニ存候也此等有之候等品ヲ引
揚ゲ支々其要途ニ適セシムル大用ニ利ス所ト被存候
ニ付徴力僅カ其事障害物ヲ排除スル得ハ船舶
碇泊其他ノ便宜ニ相成候テ國益一端ニ相成ル可ク
一舉兩善ノ策ト存候爲メ今回私儀在掃海ノ

目的より以て遺棄品引揚がニ從事致度理事廳及び
税関へ去願中ニ有之付テ、其附近ニ昨午日露戦
争ノ際沈没セシ西國軍艦ノリヤリノ號ノ遺棄品
疏散致居ニ付引揚許下ノ上遺棄品ヲ檢者ハ
律下渡相成度勿論銃器輝藥其他軍用品ハ
律指定ノ通り取斗ヒ可申尤モ引揚品ニ全副理事
警言察署ノ検査ヲ受テ之々處置在筈ニ相成
居候

右律頼及候也

明治三十九年 嘉治三月十五日

主務部會費簿

0986

原籍

兵庫縣淡路國津島郡

洲本町中下屋敷町五

現住所

韓國仁川港朝舞町武丁

目祖卷五

金井俊





海軍大臣

旅順之藤實殿

0987

小

副官 

 參事官

四十年六月五日起案

發行
高

大臣

次官



軍務局長



高員





經理局長



主任





艦政本部長



會計課長



案

仁川港外日尾島沖合ニ於ケルコレール

官房第三四九號ノ二

海軍

海軍

0989

件

綿ノ遺棄品引揚右深島幕方郎ノ
出願ノ趣ヲ以テ係棄第ニハ水田綿田等
ノ趣ヲ承取フコトニ決シテ然レモ三十七年
五十九年島分ニ當テモノニ付當省ニ於テ
ハ關係與之美此般及回答有也

明治四十年六月十三日

次官

統管商總務長官宛

遺棄品ノ趣ヲ以テ係棄第ニハ水田綿田等
ノ趣ヲ承取フコトニ決シテ然レモ三十七年
五十九年島分ニ當テモノニ付當省ニ於テ
ハ關係與之美此般及回答有也

0990

統發第二八九四号

經理局

仁川港内ニ於テ爆沈シタル軍艦コレイツ号
ノ沈没物品引揚ニ関シ別紙ノ通出願有
之候處右ノ嚮ニ及照會候ワリヤーク号遺
棄品引揚ノ件ニ付客年十二月三日官房第
四七一號貴答ト同様取扱可然哉否御回
答相成度願書送付旁及照會修也

明治四十年五月三十日

統監府總務長官鶴原定吉



官房第二三四九號

六三三

0991

ホシ
三三

コレーツ
通出願有

通出願有

ヤーク
三日官房第

三日官房第

可然裁否御田

心倉修也

中定吉



0991



コレーツ
競賣、自
コ揚

返業物
競賣、自
コ揚

コレーツ
競賣、自
コ揚

コレ

コレ

改本部
コレ
コレ

0992

海軍次官加藤友三郎殿

0993

寫

コレイツ舞遺棄物引揚ニ付御認許願

私儀

今般韓國仁川港外月尾島沖合ニ於ケルコレイツ舞
遺棄物引揚仕度尤モ御認許相受ケテ夫上ノ御
命令ハ勿論御規則堅ク遵守シ決シテ違背仕ラス
ニ拾揚品ニ然テ其都度仁川理事廳ノ届出テ御指
命通リニ執斗可申矣尚何卒特別ノ御詮議ヲ以テ
右御認許被成下度因テ別紙履歷書相添此段
奉願候也

明治四十年五月廿五日

本籍福岡縣福岡市中村馬小路一番地 平民

0994

現住地 韓國仁川港本町三丁目八号地 田中五郎 謹方

漆島 葵三 太郎

大日本帝國

海軍大臣

(久保田納)

0995

復(歴書(抜抄)

本籍 福岡縣福岡市中對馬小路一番地平民

現住地 韓國仁川港本町三丁目八号地田中五郎者方

漆島 英太郎

明治元年五月廿三日生

私儀

明治三十七年七月十四日海軍艦政本部ヨリ福岡縣福岡市行町五十三番地平民五十嵐四介ニ對シ御賣下ニ相成リタル韓國仁川港外月尾島沖合ニ於テ九ノ一ノ一號遺棄物品一部ノ引揚ニ付右被許可者ノ委任ヲ受テ明治三十七年九月一日ヨリ其引揚ニ從事シ明治三十八年十二月不詳

0996

日各任ノ終了ニ因リ止業致候

一明治三十七年十月不詳日浮揚ニタルワリヤーク群、回航出港
ニ付、新井海軍中將殿ノ御命令ニ依リ全所ニ於テ前項事
業ノ傍ラワリヤーク群ノ遺棄業煙突ノ引揚ニ従事シ
明治三十九年九月迄ニ恙ナク之ヲ揚了致矣

追示

一刑事上ノ関スル犯罪ニ依リ処分セラレタル事ナク又々
民事其他一切ノ制裁ヲ受ケシ事無之矣

右之通相違無之矣也

明治四十年五月廿五日

右 森 島 葵 太郎

(久保田納)

0997